

## 伯耆町の1年間を振り返る 2016年 注目の話題まとめ



伯耆町はこの1年、さまざまな出来事がありました。その中から、2016年を象徴する注目の話題を厳選してご紹介します。

### 沖縄県読谷村の子どもたちが民泊や初めてのスキーを体験



沖縄県読谷村から13人の子もたちが2月、町内の子もたちと交流を楽しもうと、民泊や初めてのスキーを体験したり、地域の伝統芸能も互いに披露したりしました。沖縄の男の子たちは、獅子舞で難しい立ち技を演じ、観衆を沸かせました。

### 日光小 98年の歴史に幕



児童数減少のため、平成28年度に統合する溝口・日光小学校の2校で、閉校式が行われました。日光小の閉校式には、在校生8人と教職員のほか、卒業生や地域住民ら100人以上が集まり、思い出が詰まった学び舎で、最後の時間を過ごしました。

### 県外移住者向け「お試し住宅」の利用開始



移住希望の県外者が安い賃料で最大3か月間滞在できる「お試し住宅」の貸し出しを始めた。最初の利用者は、東京都在住の4人家族。「美しい田園風景があり、買い物も便利。都会に比べ、スーパの野菜が安くて新鮮でした」と喜んでいました。

### 新生・溝口小学校が誕生



日光小と統合した新たな溝口小学校の開校式で、新しい校旗・校章・校章がお披露目されました。校章は、溝口小6年・西村脩汰くんのデザインをもとに作られ、3羽の鳥が、3つの校訓（敬愛・研学・立志）と、たくましく生きる児童の姿を表しています。

### 大山山麓 日本遺産に認定



米子・大山・伯耆・江府の1市3町で申請した「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」が、地域の歴史的魅力や特色を伝えるストーリー性があり、その魅力を海外に発信できる文化財として、県内で2件目となる「日本遺産」に認定されました。

### 植田正治写真美術館 入館者数60万人達成



植田正治写真美術館の入館者数が、平成7年の開館以来、4月で60万人に達しました。節目の来館者となったのは、日帰りで鳥取旅行に訪れた岡山市の岩本学さん(48)と佳子さん(50)夫婦。佳子さんは「記念の日に来ることができてうれしい」と話しました。

### 夏の参院選で 18歳高校生が初めての投票



今年7月の参院選から、国政選挙では初めて選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられました。町でも、投票所に制服姿の高校生の姿が見えました。期日前投票に訪れた高校生は、「若者の投票率を上げて、私たちの声を届けたい」と話しました。

### 岸本温泉ゆうあいパル 入館者数150万人突破



平成14年10月に開館した岸本温泉ゆうあいパルは、1日平均280人、盆や正月の繁忙期には1日800人が利用します。同館は10月、入館者数150万人を達成し、節目の入館者となった伯耆町の上山蒼晃さんに、森安保町長が記念品を贈りました。

### 日光地区が活性化へ向け、義方校区自治連合会と協定締結



日光地区協議会と米子市の義方校区自治連合会が、日光地区の活性化に連携して取り組む「むら・まち支え合い共生の里」協定を締結しました。協定期間は平成30年度末までの約3年間で、農地などの保全管理、遊休農地の再生などに協働で取り組む予定です。

### ふるさと納税寄附金で 新しい複合遊具完成



「子どもたちのために活用してほしい」という寄附者の意向に沿って、ふるさと納税の寄附金を活用して、事業費1,500万円をかけ、老朽化していたチッコ広場の遊具を更新しました。新しい遊具は、5種類の滑り台をはじめ、楽しい仕掛けを約20種搭載しています。

町民皆さま方に  
とりまして  
2017年も明るく  
楽しい1年となりますよう  
心よりお祈り申し上げます

